

文化人の暮らし身近に

漱石、鷗外、与謝野晶子... 旅行や転居も細かく

「よみうり抄」書籍化

夏目漱石や森鷗外、与謝野鉄幹、晶子の夫婦。大正時代の読売新聞文芸欄の雑報欄「よみうり抄」は、当時のあらゆる文化人の転居や旅行、執筆予定などの動向を細かく伝えていた。今回刊行される「読売新聞 よみうり抄」大正篇からは、当時の文壇や面壇の姿が生々しく浮かび上がる。〈本文記事一面〉

よみうり抄

読売新聞は1874年(明治7年)に創刊され、よみうり抄は98年頃に作られた。当時の紙面は、尾崎紅葉の連載小説「金色夜叉」が反響を呼ぶなど、文芸に

夏目漱石や森鷗外、与謝野鉄幹、晶子の夫婦。大正時代の読売新聞文芸欄の雑報欄「よみうり抄」は、当時のあらゆる文化人の転居や旅行、執筆予定などの動向を細かく伝えていた。今回刊行される「読売新聞 よみうり抄」大正篇からは、当時の文壇や面壇の姿が生々しく浮かび上がる。〈本文記事一面〉

法制審委員追加要望

超党派議員連「冤罪被害者ら入選を」
刑事裁判をやり直す再審制度の見直しを検討している超党派の国会議員連盟は、17日、鈴木法相に対し、法制審議会(法相の諮問機関)の委員の選定に関する要望書を提出した。要望書では、冤罪被害者やその家族の再審事件を支援してきた

訓練で死亡 公務災害

茨城の消防署員「持病悪化」

人命救助の訓練中に不整脈で死亡した消防署員の男性(当時25歳)の遺族が、公務災害と認めようとする地方公務員災害補償基金に求めた訴訟が17日、東京地裁で判決が下された。判決によると、茨城県龍ケ崎市にある消防署に勤務していた男性は2017年11月、災害対応の訓練中に不整脈を発症し、救急車で搬送されたが、死亡した。遺族は、公務災害と認めようとする地方公務員災害補償基金に求めた訴訟が17日、東京地裁で判決が下された。



与謝野晶子(国立国会図書館蔵)「近代日本人の肖像」から

「よみうり抄」は、大正2年3月14日、島崎藤村)といった記述も見られる。細かな記事から、意外な情報を読み解ける。よみうり抄は、1912年5月に東京・有楽座で開かれた「文芸協会劇」が盛況だったことや主な観覧者を報じた。同9日には森鷗外と夏目漱石が前夜、ともに来場したと伝えている。よみうり抄の記事は、当時の文芸記者たちを中心として、作家をはじめ文化人を直接訪ねて書き取ったものや、届いた手紙などをもとにしたものが多いとみられる。今回の刊行は、1912〜14年の3年分。今後、3か月おきをめどに計5巻を刊行の予定だ。今回の大正篇第一巻に関わった早稲田大の宗像和重名誉教授は、「よみうり抄は新聞にうがたれた小さな窓だが、文化の潮流を伝える大きな窓につながっている。従来のそれぞれの作家や美術家の年譜の欠けたところを補える情報もある」と話す。

JAXXAや富士通

宇宙航空研究開発機構(JAXXA)や富士通などは、太陽から月に届く強力な宇宙放射線の発生を人工知能(AI)で予測する宇宙飛行士の被曝を防ぐ狙いがあり、日本も参加する米主導の有人月探査「アルテミス計画」などに役立てる。

太陽表面の黒点周辺では、爆発現象「フレア」が頻繁に発生する。大規模なフレアが起きると、「高エネルギー粒子」と呼ばれる強力な宇宙放射線が放出される。月には地球のような大気がないため、人体に危険な放射線が地表に直接降り注ぐ。そこでJAXXAと富士通などの研究チームは、将来の有人月探査に備えよう

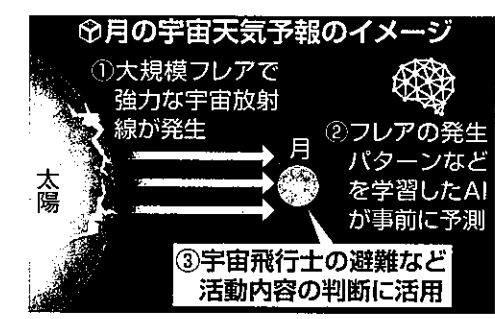
太陽からの放射線 飛行士避難

と、2025年度中に高エネルギー粒子の発生を事前に予測する技術の実現を目指す。チームは、過去に地球に届いた高エネルギー粒子の規模や継続期間、太陽活動に関する米航空宇宙局(NASA)のデータなどを活用。富士通が開発したAIにフレアの発生パターンや月周辺で人工衛星が観測した放射線量データを学習させ、高エネルギー粒子の発生を予測できないか検証する。

米国は27年、アポロ計画以来、約半世紀ぶりとなる米国人飛行士の月面着陸を計画。JAXXAも日本人飛行士の28年以降の着陸を目指している。予測技術があれば、飛行士を事前に避難させるなど被曝対策に活用できる。

富士通の光田千紘・シニアマネジャーは「被曝リスクに応じて月での活動内容を判断する目安となるような技術を作りたい」と話す。

「月面天気予報」開発へ



スリット並みの強度だった」と指摘。男性の持病が、運動で心臓突然死の危険性を増加させるものだった。

判決は、男性が行った訓練が「一般人が行う運動強度をかなり上回る危険性を増加させるもの」として退けられた。

架空請求詐欺で 3億2000万円被害

横浜の男性 神奈川県警は17日、横浜市磯子区の会社経営の50歳代男性が、架空請求で現金計約3億2000万円をだまし取られる被害に遭ったと発表した。同県内の特殊詐欺被害額では過去最高という。発表によると、男性の携帯電話が昨年1〜6月、通信会社の職員を装った男から「電話回線の未納料がある」などと電話があり、男性は76回にわたって指定口座に現金を振り込むなどしたという。

タイで保護16歳 「仕事応募した」

ミャンマーで詐欺加担

ミャンマー・東部ミャワテを拠点とする特殊詐欺グループに加担させられていたとして、愛知県在住の男子高校生(16)がタイ警察に保護され、「海外でやれる仕事がある」というインターネット情報に応募したという趣旨の説明をしていることが、日本の捜査関係者への取材でわかった。高校生活は16日に帰国し、県警が事情を聞いていた。

捜査関係者によると、高校生が行方不明になったことから家族が警察に相談していたところ、少年から「ミャンマーにいる」という連絡があった。少年は今回の渡航のためにパスポートを取得したとみられる。

ミャンマーでは、偽の求人で誘い出された外国人が詐欺に加担させられる事例が相次いでおり、タイ警察は詐欺グループに関与した可能性のある日本人の複数の男を拘束したと発表している。

天気	最高気温	最低気温	天気
晴	15.5	11.0	晴
晴	15.7	11.0	晴
晴	15.9	11.0	晴
晴	16.0	11.0	晴
晴	16.1	11.0	晴
晴	16.2	11.0	晴
晴	16.3	11.0	晴
晴	16.4	11.0	晴
晴	16.5	11.0	晴
晴	16.6	11.0	晴
晴	16.7	11.0	晴
晴	16.8	11.0	晴
晴	16.9	11.0	晴
晴	17.0	11.0	晴
晴	17.1	11.0	晴
晴	17.2	11.0	晴
晴	17.3	11.0	晴
晴	17.4	11.0	晴
晴	17.5	11.0	晴
晴	17.6	11.0	晴
晴	17.7	11.0	晴
晴	17.8	11.0	晴
晴	17.9	11.0	晴
晴	18.0	11.0	晴

連絡の約束 家族で決めた約束

お騒がせ親族の襲来

前水面下に進めていた新事業

外壁塗装

3億2000万円被害

架空請求詐欺で

横浜の男性

神奈川県警は17日、横浜市磯子区の会社経営の50歳代男性が、架空請求で現金計約3億2000万円をだまし取られる被害に遭ったと発表した。

商品券 世帯主様1回に限りです

お見積り

もれなく商品券 1,000円分プレゼント!

さらにお見積り

もれなく商品券 1万円分プレゼント!